

スズカケソウ	<i>Veronicastrum villosulum</i> (Miq.) T.Yamaz.	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 I A類)		ゴマノハグサ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。また、その個体群がその再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	写真(高橋弘)
形態の特徴	茎は蔓状となって斜上し、長さ1-1.5mになる多年草。葉とともに密にビロード状の毛がある。葉は互生し、有柄で長卵形。花期は7-8月。葉腋に無柄の球形の花序をつくり、多数の濃紫色で長さ約7mmの小さな花を開く。	
生態的特徴	竹林のやや日陰に生える。	
分布状況	県内の南西部に生育する。国内での生育地も此処だけのである。	
減少要因	本種の分布域は県南の西部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できないことのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良